

一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言っていて、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

#### 共同祈願 「平和の使徒」となるための祈り

平和の源である神よ、

あなたは、世界で最初の被爆地に司教座聖堂を据えるわたしたちを、  
世界平和のために働く使命へと招いておられます。

この召命に応えていくために聖霊の息吹によってわたしたちの罪をゆるし、  
キリストの愛のうちにとどまらせてください。

どんなときにもキリストの平和の福音を宣べ伝え、

すべてのいのちを守るあなたの愛をあかしするため、現代社会の中で、

自分にできることをすすんでささげるキリストの「平和の使徒」とならせてください。

主キリストは生きて、治めておられます、

世々としえに。アーメン。